本町ほのぼのだより　第３５号

発行 ： 中野区立本町図書館　 中野区本町 2 丁目 13 番 2 号　 TEL 03-3373-1666
発行年月日 ： 平成 29 年 2 月 25 日 第 35 号

第３５回　本町図書館　個性づくりテーマ展示

シルクロード
～「西遊記」天竺の果てまで～

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしてまいります。

第３５回目となる今回は、「シルクロード～「西遊記」天竺の果てまで～」と題して、「アジアの文化・歴史」をテーマにした展示をお届けします。

中国・日本の仏教界に多大な貢献をした玄奘三蔵。私達がイメージする三蔵は、『西遊記』の影響を受け、徳は高いけれど頼りないお坊さんというイメージではないでしょうか。しかし、実際の彼は、求法のため、国禁を犯して天竺（現在のインド）までシルクロードを経由して、厳しい旅をした意志の強い人です。往復にかけた年月は、１７年と長いものでした。

彼が旅したシルクロードは、どのような道なのでしょうか？そして、シルクロードの果ては、三蔵が目的地とした天竺なのでしょうか？

実は、シルクロードは中国とインドを結ぶ交易路だけではなく、アジア・ヨーロッパ・アフリカを結ぶ広大な東西交易路のことを指します。三蔵が通ったルートの他にも、さまざまなルートがあります。

この機会に、シルクロードについて調べてみませんか？

展示場所：本町図書館　２階書架

展示期間：平成２９年２月２５日(土)　～　４月２７日(木)

※　展示資料は貸出もできます

東西を結ぶ3つの道～シルクロード～

●シルクロードとは

ドイツの地理学者リヒトホーフェン（1833～1905）が著書『ｃｈｉｎａ（ヒナ）』の中で、中国と西トルキスタン及び西北インドとの絹貿易を取り結んだ中央アジアの道を「絹の道（ドイツ語：ザイデン＝シュトラーセン、英語名：シルクロード）」と呼んだことに始まります。日本では、中央ユーラシアの東西交通路という意味が強く、中国･日本など東アジアと西方（アフリカ・ヨーロッパ含む）を結んでいた海上交通路も含めて使われます。また、中央アジア・中央ユーラシアの地域の呼称としても、使用されることがあります。

絹や陶磁器などの交易品のほか、仏教やゾロアスター教、キリスト教、イスラム教などの宗教、音楽、芸術もシルクロードを経由して広まりました。そのため、シルクロードが果たした歴史的･文化的な役割は大きいといえます。

●シルクロードのルート

① オアシスの道（オアシスロード）

中央アジアの砂漠に点在する、オアシス諸都市を結ぶ交易路。貿易を行うキャラバン（隊商）がラクダなどで移動しました。この道を経由して中国から絹が移送されました。そのことから、「絹の道」といえば、このオアシスの道のことを指しました。オアシスロードは、更に天山北路、天山南路、西域南道の３つに分かれます。

②　草原の道（ステップロード）

オアシスロードの北方、南アジアの大ステップ地帯を経由する交易路。南ロシア、カザフ草原、アルタイ山麓、モンゴル高原を結ぶこのルートは、主に騎馬遊牧民族が利用しました。古代ギリシャの歴史家ヘロドトスも言及しており、オアシスの道よりも古い交易路と推測されています。13 世紀、チンギス・ハンの一族がこの道を利用して、ヨーロッパに侵入しました。

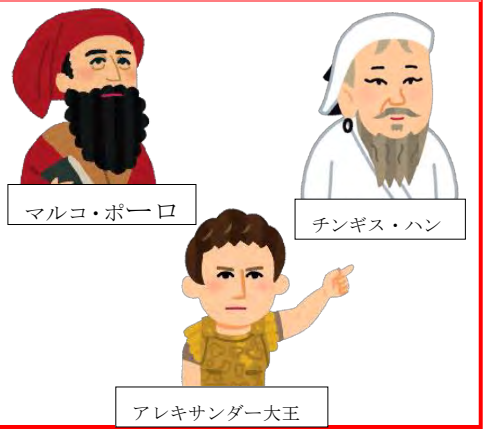
③ 海の道（海のシルクロード）

南シナ海、インド洋、アラビア海、紅海沿岸を経由する海上交易の道です。陸上のシルクロードは王朝の交替や戦争などでしばしば中断することがありましたが、海路をさえぎるものはなかったため、重宝されました。東南アジアには、チャンパーや扶南などの交易国家が成立し、繁栄しました。また、８世紀以降はムスリム商人が中国との交易に乗り出して、海のシルクロードは更に活発化します。ムスリム商人はジャンク船をつかい、モンスーンを利用して航行しました。中国・広州には、ムスリム商人の居留地ができるほど、海上交易は活発でした。このため、１０世紀以降は陸上交易路が衰退する要因となりました。

●シルクロードの歴史

有史以前より、シルクロードは存在していたと考えられています。文献には残っていませんが、西方から農耕文化、彩陶の製法や鉄器などが伝わったと推測されています。確実な記録によってシルクロードの実態がわかるのは、漢の武帝が中央アジアの月氏のもとへ派遣した張騫の報告によるものです。張騫によって、西方に高い文明を持つ西方の国家の存在が分かります。漢の時代以降、諸国は中国の絹など奢侈品や物資を求め、キャラバン（隊商）を送りました。4 世紀以降、ソグド人が商人として活躍し、ゾロアスター教やマニ教などを唐に伝えました。8 世紀以降は、ムスリム商人が商業活動の担い手となります。13 世紀にモンゴル帝国が誕生すると、内陸の駅伝制度と海運の利用により、ユーラシア全域にわたって交易が活発化しました。明王朝の初期には、鄭和が海のシルクロードを経由して、インド・ペルシア・アフリカの東岸に達しました。これは、海路による諸国の冊封体制樹立を目指したものでした。16 世紀以降、大航海時代を迎え、ヨーロッパ商人が中心となり、海上貿易は全地球的な規模となりました。これにより、シルクロードの重要性が低下していきます。

シルクロードを使った世界史の偉人



●現在のシルクロードの様相

ソビエト連邦崩壊後、中央アジア諸国は独立しました。その後、貿易や交通の観点から、この地域は対外関係に積極的になります。また、新疆ウイグル自治区から中央アジアへとつながる中国の領域も、中国の経済発展・対外開放の促進のため、貿易・運輸の面で再び脚光を浴び、運輸網が整備されました。一方で、9･11 以降のテロリズムの台頭やウイグル自治区の独立問題など、複雑化する国際情勢、各国の安全保障やナショナリズムなどに関連した問題が山積しています。

参考文献：『中央ユーラシアを知る事典』　小松久男　他編　平凡社　2005 年（中央図書館ほか所蔵）

～ シ ル ク ロ ー ド 今 昔 ～

東西の歴史と文化が交差するシルクロード。2014 年に「シルクロード：長安－天山回廊の交易路網」という名称で世界遺産に登録されました。

この道には、玄奘三蔵がかつてインドに仏典を求めて歩んだ道も含まれます。玄奘は、天山山脈の南を通り、砂漠の中のオアシス都市を訪れながら峠を超え、西へ渡りました。玄奘より前の時代にインドへ渡った法顕は、その道をこのように形容しています。

―上に飛ぶ鳥なく、下に走る獣なし。見渡す限り砂漠で拠り所がなく、ただ死人の枯骨を標識とするのみ―

共もなく、ひとり馬をひいて歩いた玄奘の旅の困難と孤独がうかがえます。

かつて玄奘が訪れた都市は、現在はどのように変わっているのでしょうか。

◆敦煌◆

敦煌は砂州とも呼ばれ、その名の通り砂漠に囲まれたオアシス都市です。現在の敦煌市は清代に出来たもので、かつては別の場所にありました。時代が変わり、支配者が幾度となく変わっても、東西文化の花開く、交易の要所であり続けました。

有名な仏教遺跡「莫高窟」は、なんと現在わかっているだけでも 734 窟もあり、総面積は４万５千平方メートル、すべてを横に並べたら 30 キロメートルの長さになるという巨大な石窟です。時代によって窟の構造、彫刻の様式、壁画の画題などに特徴が異なり、中国の仏教美術史を一度に学べてしまいます。そのため、「砂漠の大画廊」とも呼ばれ、今もたくさんの人が訪れています。1000 年以上に渡ってその姿を保ち続けているのは、極めて乾燥した厳しい土地だからともいえるのです。

◆トルファン◆

敦煌より西にあるトルファンは、世界有数の盆地で、乾燥し暑さの厳しい場所です。火州とも呼ばれ、まるで炎を思わせる模様のある火焔山は、「西遊記」で孫悟空が牛魔王と戦った舞台にもなっています。

このトルファンは、天山南路と北路を結ぶ要所で、かつて「高昌国」が栄え、玄奘とも深い関わりのある地です。

王の麹文泰は仏教に深く帰依しており、玄奘を歓待し、玄奘は二か月もの間この地に滞在しました。玄奘の深い知識に感動した王は、国に残って仏教を教えてくれと頼みました。しかし仏典を求めるため王の願いを断り旅立つ玄奘は、「帰路には必ず立ち寄る」と約束します。

玄奘は仏典を得た後、約束を果たすため、わざわざ厳しい砂漠のある道を再び歩きますが、二人が再会することは叶いませんでした。玄奘がインドへ渡っていた 10 年の間に、高昌国は滅びてしまったからです。この世に移り変わらぬものはない、諸行無常を強く胸に感じたに違いありません。

『月百姿　玉兎　孫悟空』

国立国会図書館ウェブサイトより転載

トルファンの厳しい風土は、甘いぶどうを生み出し、ぶどうやハミウリなどの特産品があります。 かつては玄奘も、ぶどう棚の木陰で休み、一時旅の疲れを癒したのかもしれません。

参考文献：　『玄奘三蔵、シルクロードを行く』　前田耕作　著　岩波書店　2010 年（中央図書館所蔵）

三蔵、シルクロード、それ行け！

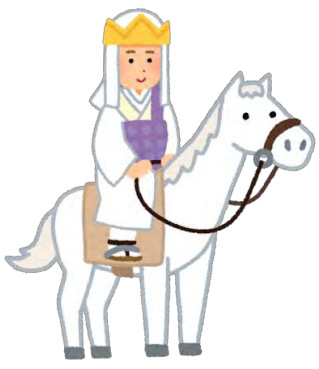
玄奘三蔵

「玄奘」は法名で、「三蔵」は仏教の経典、「経蔵」「律蔵」「論蔵」の三蔵に精通した僧のことをいいます。玄奘は隋（中国）代の 602 年に生まれ、幼い頃から読書に親しみ、書物の真義を素早く理解しました。10 歳の時に兄のいる洛陽の浄土寺に入り、13 歳の時には師が講義したことを再現できたといわれています。15 歳の時、洛陽で 27 人を僧にさせる詔勅が下り、玄奘は年齢が資格に達していませんでしたが、才能を見抜かれ得度を許されました。そして、隋から唐に変わる混乱期に、多くの名僧が住む「蜀」へ移り、20 歳の時に具足戒を受け、蜀で学ぶことがなくなると諸国の高僧を訪ねようとしました。しかし、蜀を出ることは禁じられていたため、禁令を破り各地を巡歴し長安へ向かいます。そして、玄奘は長安にある全ての経典を読破しますが、学ぶほどに疑問が沸きました。様々な高僧に疑義を正しても、各人各様の解釈があり納得できず、翻訳された経典に疑問を抱き始めます。そこで、インドへ赴き経典の原典を読み、インドの高僧に疑義を正そうと決意しますが、唐王朝は国外への旅行を禁じており、またも禁令を破り、629 年に旅立ちました。玄奘は釈尊の教え、真理の探究に情熱を傾けていました。長安を出ると秦州・蘭州・涼州・瓜州を経て敦煌・玉門関・高昌国へと入り、高昌国で国王から旅費の寄進を受けました。そして、天山山脈を越え、現在のキルギス・ウズベキスタン・アフガニスタンを経て、632 年に目的地のナーランダ寺院に到着しました。ここで 5 年間学んだ後、インド全土を周遊して 645 年に帰国します。その際、仏像 8 体、経典 520 夾 657 部を持ち帰りました。玄奘は禁令を破りましたが咎められることなく、皇帝太宗から西域への旅をまとめるよう命じられ、「大唐西域記」を著しました。そして残りの人生、持ち帰った経典の翻訳に当たり、664 年に入寂しました。

西遊記

ご存知「西遊記」は、三蔵法師が弟子の孫悟空・猪八戒・沙悟浄を連れて、妖怪と戦いながら天竺へ旅する物語。玄奘の史実「西天取経」を基にしていますが、ストーリーは奇想天外な SF、ファンタジー作品です。主人公は孫悟空で、玄奘は実際の偉大な姿とは似ても似つかぬ、軟弱で無力な人物として描かれています。作品の構成は全 100 回の長編で、3 部構成ですが、もとは民間芸能の講談が母胎となっています。当時、玄奘の成し遂げた西天取経は正に快挙で、多くの伝説が生まれました。そのため、早くから講談の題材に取り上げられ、話が膨らんでいきました。そして、長い年月を経て宋代に文字化され、「大唐三蔵取経詩」としてまとめられます。そしてこれがテキストとなり元代に、「西遊記」と題する小説が生まれ、明代に出版されたものが、最終的に完成体とされています。西遊記は中国で明代白話（話し言葉）小説の傑作、四大奇書の一つとされ、他に「三国志演義」「水滸伝」「金瓶梅」があります。

参考文献：『ビジュアル世界史 1000 人 上巻』世界文化社　2012 年（中央図書館ほか所蔵）
『三蔵法師が行くシルクロード』菅谷文則著　新日本出版社　2013 年（鷲宮図書館所蔵）
『中国の五大小説 上』井波律子著　岩波書店　2008 年（鷲宮図書館所蔵）



展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
イスラムとは何か。	ペン編集部　編	阪急コミュニケーションズ	2013	167　イ
玄奘	三友　量順　著	清水書院	2016	188.2　ゲ
南アジアを知る事典	辛島　昇　監修	平凡社	2012	225　ミ
シルクロードの古代都市	加藤　九祚　著	岩波書店	2013	229.6　カ
女一匹シルクロードの旅	織田　博子　著	イースト・プレス	2015	292.0　オ
新モンゴル紀行	菊間　潤吾　著	新潮社	2016	292.2　キ
インドのことがマンガで3時間でわかる本	関口　真理　著	明日香出版社	2015	302.2　イ
正倉院宝物	杉本　一樹　著	新潮社	2016	702.1　ス
東洋美術をめぐる旅	東京国立博物館編著	平凡社	2013	702.2　ト
悟浄出立	万城目　学　著	新潮社	2017	マキ　913.6

シルクロードについて調べてみよう！

今回ご紹介した他にもシルクロードに関する図書はたくさんあります。また、図書のほかに、雑誌記事、新聞などでも調べられます。いろいろな情報源を使って、調べてみましょう。

1.キーワードを使って調べよう

次のキーワードを参考にして調べよう。

シルクロード（絹の道）	海の道	草原の道	中央ユーラシア（中央アジア）	交易史
仏教伝播	東南アジアの歴史	オアシス都市	砂漠	西域

2.基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
シルクロードを知る事典	220　シ	本町
中央ユーラシアを知る事典	229　チ	中央・南台・江古田

3.図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。【テーマの棚】を実際に見て、図書を探そう。

分野	請求記号	分野	請求記号	分野	請求記号
アジアの歴史	220	アジア諸地域の歴史	229	中央アジア	292．6

図書館のホームページやOPACを使って、図書を探そう。

【中野区内に図書があるか】

●中野区立図書館ホームページを使って調べよう。

→ http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp

【東京都内に図書があるか】

●東京都立図書館のホームページを使って調べよう。

→ http://www.library.metro.tokyo.jp/

【国内に図書があるか】

●国立国会図書館のホームページを使って調べよう。

→ http://www.ndl.go.jp/

4.雑誌・新聞記事を探そう

●中央図書館参考室の雑誌新聞記事索引データベースを使って調べよう

日経テレコン21	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の新聞全文や企業情報などが検索可能。
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞のほか、知恵蔵・AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や論文情報検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から存命中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年から当日までの官報が検索可能。
D1－Law.com	判例などの法律情報が検索可能。

5.関連機関を使って調べよう

●公益財団法人 東洋文庫ミュージアム 東京都文京区本駒込2－28－21 3942－0280

東洋文庫は、設立から90年以上を経た東洋学の研究所と専門図書館です。東洋文庫は、東洋学の研究者が主に利用する施設でしたが、一般の方々にもアジアについて興味を持ってもらいたい、という目的でミュージアムが開設されました。東洋文庫が所蔵する貴重書がミュージアムで展示されています。

●公益財団法人 アジア・アフリカ文化財団 アジア・アフリカ図書館
東京都三鷹市新川5－14－16 0422－44－4640

1958年にアジア文化図書館として開館した後、アジア・アフリカ図書館と改称。アジア・アフリカ諸地域の歴史や文化に関する図書が約20，000点所蔵されています。海のシルクロードに関する図書もあります。

本町図書館からのお知らせ

本町図書館個性づくり展示「シルクロード～「西遊記」天竺の果てまで～」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

☆おはなし会☆

毎週土曜日　11:00～11:30
第4水曜日　15:30～16:00
児童室にて開催中！
第4土曜日は乳幼児向けの
「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

下記の個性づくりの本は展示しています。

第三十一回・ブラジル
第三十二回・日本の詩歌
第三十三回・吹奏楽
第三十四回・水墨画

第一回～第三十回の
個性づくりの本は
一般書架にあります。

児童コーナー

春のこども会

平成29年4月1日(土)

11:00～12:00

☆3月・4月の休館日のご案内☆

〈3月〉
13日の月曜日
31日(金)・館内整理日
〈4月〉
10日の月曜日
28日(金)・館内整理日

『本町ほのぼのだより』
第３６号は４月２９日
発行予定です。